

平成29年7月6日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

## 平成29年度 第1回 地域経済活性化部会

◆ 7月6日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成29年 第1回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成29年7月6日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

### ◎ 地域経済活性化部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 経過報告

#### (1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業【資料1】

①4/5：羽村取水堰と玉川上水～福生多摩川堤防：美しい多摩川フォーラム、羽村市、福生市、リビング多摩、大谷桜守、田村酒造場

②4/8：第8回“美しき桜心の物語”の語り会（日の出町・寶光寺、語り部・平野啓子副会長）※

③4/12：高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園：美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守、多摩森林科学園

#### (2) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料2】

4/15：第6回“美しき桜心の物語”の語り会（四十番・月岡公園：語り部・平野啓子副会長）

#### (3) 多摩川“水”大学講座（5/19、6/16）【資料3】

(4) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施（6/1～）【資料4】

(5) 平成29年度総会開催（5/27）【資料5】

(6) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力（5/27～11/4）【資料6】

(7) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈（6/1）

(8) 調布市環境フェア出展（6/3）【資料7】

(9) 第10回多摩川一斉水質調査実施（6/4）【資料8】

(10) 多摩川っ子（第10号）発行（7/5）【資料9】

- (11) 多摩川“水”大学講座 (7/21、9/15)
- (12) 狛江古代カップ第27回多摩川いかだレース参加 (7/16) 【資料10】
- (13) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成29年度総会開催 (7/21 福島県福島市)
- (14) 美しい多摩川フォーラム設立10周年記念シンポジウム開催 (7/29) 【資料11】
- (15) 多摩川流域魅力体験事業 (多摩川カヌー駅伝大会) 第1回実行委員会 (8月上旬)
- (16) 第9回炭焼き体験と水辺の交流会開催 (8/22) 【資料12】
- (17) 第4回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始 (9/1～) 【資料13】
- (18) 「多摩の物語」の語り会 (9/9) 【資料14】
- (19) 美しい多摩川フォーラムの森 (青梅)「桜の記念植樹」イベント (9/23)

## 5. 意見交換

- (1) 設立10周年記念事業の進捗状況について 【資料5】
- (2) 設立10周年記念シンポジウムの方向性・内容について 【資料11】
- (3) その他

## 6. 部会長総括

## 7. 閉会

### 1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成29年度第1回地域経済活性化部会を始めさせていただきます。始めに当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は、小野リサさんによるボサノヴァバージョンでお聞き下さい・・・。

本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します

(八王子市 水循環部 水環境整備課 課長 吉岡 宏人 様)

吉岡と申します。本日はじめて参加させていただきました。私自身、多摩川に関して不勉強なところがありますので、今日の経過報告等をお聞きし、勉強させていただきます。

(日の出町 産業観光課 商工観光係 課長補佐 濱中一成 様)

濱中と申します。私は4月に産業観光課に着任したばかりのため、多摩川フォーラムのことについてはまだまだ勉強不足ですので、これから皆さんとともに勉強していきたいと思っております。よろしくお願ひします。

(青梅市 市民部 スポーツ推進課 スポーツ推進係長 中村 栄之 様)

中村と申します。私も4月に現在の課に着任し、多摩川フォーラムは今日が初参加

です。スポーツ推進課としましては、青梅マラソン等で日頃よりご協力をいただき有り難うございます。今日は色々と勉強させていただきますので、よろしく願い申し上げます。

## 2. 部会長挨拶

(藪田部会長)

本日は第1回地域経済活性化部会にご出席いただき、有り難うございます。当会もいよいよ10周年を迎えます。先ほど事務局のほうで資料を「1枚、2枚・・・」と数えていましたが、つい「お菊の皿」を思い出してしまいます。(会場笑)夏は夏で楽しむことが大事だと思いますが、私の卒業生数名が平塚市役所で働いており、平塚で有名な七夕祭りを運営しております。彼らに「ぜひ宣伝してくれ」と言われたので宣伝させていただきます。多摩地区で「七夕祭り」はあるのか調べたところ、「七夕」と名前の付いている祭りはそれほどありませんでした。福生や高幡不動など、何か所しかありません。これは良い事だと思いましたが、「七夕」というと通常は7月6日の夜から翌日朝にかけての祭りですが、節操がないと言いますか、祭りによっては日程がバラバラなのです。例えば「福生七夕まつり」は8月3日～6日です。そういうことを考えると、当フォーラムでも、どうやって季節性を超えて地域経済を活性化させていくか、新しいイベントを考えなければならないのではないかと思います。そういう意味では、七夕の不節操な日付のように、自由な発想で皆さまからご意見をいただければ有り難いと思います。今日は、一人一人当てるかもしれませんので、よろしく願いいたします。

## 3. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(1)番の②をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

ここまでで、何かご質問、ご感想があれば、挙手をお願いします。  
経過報告を続けます。

### (1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業【資料1】

- ①4/ 5：羽村取水堰と玉川上水～福生多摩川堤防：美しい多摩川フォーラム、羽村市、福生市、リビング多摩、大谷桜守、田村酒造場

②4/ 8：第8回“美しき桜心の物語”の語り会（日の出町・寶光寺、語り部・平野啓子副会長）※

③4/12：高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園：美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守、多摩森林科学園

- ・ 【資料1】の3枚目をご覧ください。さきほどビデオでご紹介した第8回“美しき桜心の物語”の語り会にご後援いただいた、日の出町産業観光課商工観光係課長補佐の濱中様に一言お願いします。

（日の出町 産業観光課 商工観光係 課長補佐 濱中一成 様）

いまビデオでご覧いただいた通り、4月8日に日の出町の寶光寺で平野啓子さんによる“美しき桜心の物語”の語り会を開催しました。当日は大変盛況で、定員60名のところ、80名まで増やしましたが、それでも当日予約なしで来られる方も数名いらっしや、急遽席を増やすほど、参加した皆さんが楽しみにしていた会でした。私も会場で聞かせていただきましたが、物語の中に引き込まれ、感動し、良い一日を過ごしました。これからもこの会を続けていただき、感動を届けていただきたいと思います。有り難うございました。

- ・ 続いて【資料1】の1-2枚目、4-5枚目をご覧ください。今年もリビング多摩様と連携し、くにたち桜守の大谷和彦さんをガイドに迎え、桜のガイド付ウォーキングを4月5日に実施しました。当フォーラムでは、羽村市様、福生市様と連携し、「玉川上水・多摩川沿いの満開の桜を巡り、途中で田村酒造場を見学し、地酒の試飲ができる」という人気の桜ウォーキングを継続実施しました。参加された皆さんは“桜”と“お酒”を十分ご堪能されたようです。また、翌週12日の桜ウォーキングについては、今年も京王電鉄様と連携し、多摩森林科学園の吉丸元園長さんのご協力により、事前に桜のミニ講座を実施し、桜の知識や見所について丁寧に解説していただき、大変充実したイベントになりました。本件につきまして、サンケイリビング新聞社の石河編集長に一言お願いします。

（サンケイリビング新聞社 エリア営業局 多摩本部 編集長 石河 久美 様）

今回も4月に2回の桜ウォーキングを実施しました。4月5日開催のほうは、桜がまだ1部咲きの状態でしたが、ガイドの大谷さんは野草や野鳥などに詳しいので、桜だけではなく、多摩川沿いの自然を満喫できるウォーキングになりました。定員20名のところ、集客は半分でした。3～4年連続で同じコースを設定しているので、そろそろコースの見直しが必要かなと感じました。しかし、参加者の満足度は非常に高いイベントでした。12日は桜が満開で、素晴らしい桜を愛でながらのウォーキングになりました。こちらは32名の参加があり、非常に充実したイベントとなりました。

参加者の年齢層は高めですが、健脚な方ばかりでした。多摩森林科学園は、ソメイヨシノだけではなく様々な種類の桜を楽しめ、吉丸元園長のレクチャーもあり、堪能することができました。こちらもコースを色々考えながら、また実施したいと考えております。

**(2) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料2】**

4/15：第6回“美しき桜心の物語”の語り会（四十番・月岡公園：語り部・平野啓子副会長）

- ・ 【資料2】をご覧ください。東日本大震災復興支援プロジェクトの一環として「第6回“美しき桜心の物語”の語り会」が山形県上山市の「日本の宿 古窯」のコンベンションホールにおいて開催され、今年も平野副会長にご出演をいただきました。

**(3) 多摩川“水”大学講座（5/19、6/16）【資料3】**

- ・ 【資料3】をご覧ください。今年度は小金井市様との共催のもと、5月19日に開講しました。6年目となるこの講座ですが、講師には引き続き、小倉副会長にお願いし、この講座を通じて、水環境に関するリーダーの養成を目指します。

**(4) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施（6/1～）【資料4】**

- ・ 【資料4】をご覧ください。6月1日より、東急百貨店の本店をはじめ10店舗において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコ・チャリティー」が開催されており、今年もオリジナル・チャリティーグッズが販売されています。これは、東急百貨店様のCSRの一環として企画されたもので、今年で8回目となります。環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの活動に役立ております。

**(6) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力（5/27～11/4）【資料6】**

- ・ 【資料6】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。皆さん、ぜひお出かけいただき、チャレンジしてみたいかがでしょうか。本件につきまして、狛江市企画財政部政策室企画調整担当主事の西村様より一言申し上げます。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事 西村 亜輝彦 様)

昨年に引き続き、実施している事業です。多摩川流域の11自治体（府中市、調布市、日野市、狛江市、多摩市、稲城市、奥多摩町、大田区、川崎市、小菅村、丹波山村）で連携しています。地域間の連携や地域の振興に寄与することを目的に実施しています。この事業は年々連携自治体が増えており、当初は4自治体でしたが、一昨年は10自治体、昨年は11自治体に増えました。資料の中面をご覧ください。すでに府中市さんと川崎市さんのイベントは終了しておりますが、調布市さんのイベント以降はこれから参加が可能です。7月16日には狛江市において多摩川いかだレースも開催されますので、お時間があればぜひご参加ください。参加された方には粗品をプレゼントしておりますし、2つ以上のイベントに参加された方には抽選で豪華賞品をプレゼントしていますので、ぜひ機会があればご参加ください。多摩川フォーラムさんからも多大なご協力をいただいておりますので、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

(事務局)

有り難うございました。事務局から質問です。去年実施され、どれくらいの方が参加されたのでしょうか。

(西村 様)

昨年抽選に応募された方が約1,700人ですので、イベント自体に参加された方はさらに多いと認識しております。

#### (7) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈 (6/1)

- ・ 青梅信用金庫では、昨年2月から4月にかけて「多摩川夢の桜街道応援定期積金」を販売し、募集総額10億円の0.01%に当たる10万円の寄付金を4年間に亘りいただくことになりましたが、6月1日に、2年目の寄付金として10万円の寄付金の贈呈を受けましたので、ご報告させていただきます。

#### (8) 調布市環境フェア出展 (6/3) 【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、第45回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査や美しい多摩川クリーンキャンペーンなどの環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。

#### (9) 第10回多摩川一斉水質調査実施 (6/4) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。フォーラムが直接担当した調査地点のCODの調査結果を速報としてお届けするものです。今回も、上流の山梨県丹波山村から

最下流の河口の0キロポストまで、多摩川水系の流域75地点の調査を実施しました。今回も、山崎運営委員には多摩川下流域10ヵ所の採水、渡邊環境清流部会長には多摩川上流域2ヵ所の採水および75ヵ所の調査にご協力をいただきました。今回の調査は、CODに加え、水中の無機イオンの総量を示す電気伝導率や生活排水に多く含まれている硝酸態窒素、リン酸態リンのほか、水の濁りの程度を表す濁度、水の色の程度を表す色度を専門の計測器等を使って調査しました。なお、詳細なCOD調査結果レポートは、例年どおり11月に発行する予定です。

**(10) 多摩川っ子 (第10号) 発行 (7/5) 【資料9】**

- ・ 【資料9】をご覧ください。今回で第10号になります。今年も夏休み前に子どもたちにご案内するため、7月5日に多摩川流域の小・中学校をはじめ、教育関係者に配布しました。

**(12) 狛江古代カップ第27回多摩川いかだレース参加 (7/16) 【資料10】**

- ・ 【資料10】をご覧ください。今年も「美しい多摩川フォーラム号」として出艇します。今回も、いかだには、狛江市長をはじめ、バルセロナ五輪女子平泳ぎ金メダリストの岩崎恭子さん、当フォーラムのダニエル・カール副会長、狛江市職員、フォーラム事務局の5人が乗り込み、第1レースに出艇します。皆さん、ぜひ、会場に足を運んで、応援をよろしく願いいたします。

**(14) 美しい多摩川フォーラム設立10周年記念シンポジウム開催 (7/29) 【資料11】**

- ・ 【資料11】をご覧ください。既にご案内のとおり、美しい多摩川フォーラム設立10周年記念シンポジウムを7月29日に開催します。詳細につきましては、後ほどの意見交換でご説明させていただきます。なお、サンケイリビング新聞社の石河編集長のご厚意により、リビタマ7月15日号にシンポジウム開催の告知を載せていただけることになりました。これからマスコミ各社にもPRを依頼して参りますので、フォーラム会員以外の方にも参加していただければと思っております。

**(15) 多摩川流域魅力体験事業 (多摩川カヌー駅伝大会) 第1回実行委員会 (8月上旬)**

- ・ 青梅市、羽村市、福生市、あきる野市、昭島市、八王子市の6市が連携して実施する多摩川カヌー駅伝大会の開催日が11月25日に決定しました。美しい多摩川フォーラムも6市に協力してこの事業を盛り上げ、誘客に努めていきたいと存じます。なお、第1回実行委員会は8月上旬に開催される予定です。本件につきまして、青梅市市民部スポーツ推進課スポーツ推進係長の中村様にご

説明をお願いします。

(青梅市 市民部スポーツ推進課 スポーツ推進係長 中村 栄之 様)

私から事業概要について簡単に説明いたします。ただいまの説明の通りですが、青梅市のほか、羽村市さん、福生市さん、あきる野市さん、昭島市さん、八王子さんの広域連携で行う事業となります。協力団体として、美しい多摩川フォーラムさんに多大なるご協力をいただき、実施することとなりました。事業の目的ですが、多摩川という地域資源を活用した事業を開催し、地域資源多摩川の魅力を体験する機会を創出する、河川敷きだけではなく、清流を最大限に利用した多摩川カヌー駅伝大会を開催し、ゴール地点では多摩地域の素晴らしい景観や文化にも触れていただけるような展示や、親水事業等を行い、選手や観戦者に多摩地域の魅力を発信するものです。地域資源を活用したカヌーというスポーツイベントをきっかけとして、連携事業を行うことにより、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、多摩地域の連携を高めるとともに、大会の機運の醸成を図ることを目的として実施いたします。開催日は平成29年11月25日(土)です。実施会場は、スタート地点を青梅市釜の淵公園とし、ゴール地点を昭島市くじら公園とし、全長約17キロのコースになります。このコースを4区間に分け、カヌーをタスキと見立てた駅伝大会として実施します。イベントの柱はカヌー駅伝大会ですが、これを盛り上げるものとして、ゴール地点を中心に、カヤック体験教室や多摩川紹介パネル展示、関係自治体のPRコーナーや来場者向けの抽選会、飲食ブース、スタンプラリー等を計画しています。実施については、関係者にお集まりいただき、8月上旬に第1回実行委員会を開催する予定です。この実行委員会を何回か重ね、詳細を固めて再度ご説明させていただきたいと思っております。

#### (16) 第9回炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/22)【資料12】

- ・ 【資料12】をご覧ください。今年は8月22日に、奥多摩漁業協同組合のご協力のもと、青梅市、おうめ水辺の楽校運営協議会と共催します。竹による炭焼き体験と水辺の安全学習を实践する、親子参加型の交流会を予定しております。なお、8月1日より受付を開始いたします。

#### (17) 第4回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始(9/1～)【資料13】

- ・ 【資料13】をご覧ください。これは昨年のチラシになります。本年も、チラシをリニューアルして、JR東日本八王子支社様と連携し、管轄の駅にチラシを置いていただく方向で進めております。また、大多摩観光連盟様が発行しているPR誌「大多摩四季報」にも掲載いただけるように準備を進めております。今年も、はとバスさんや各旅行会社さんにツアーを組んでいただけるように取

り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。本件につきまして、小澤酒造株式会社取締役社長の小澤運営委員に一言お願いいたします。

(小澤酒造株式会社 取締役社長 小澤 順一郎 様)

少し前まで、多摩川酒蔵街道メンバーの5蔵が加盟している、酒造組合西多摩支部の支部長をしておりました。「多摩川酒蔵街道」のおかげで、「多摩川に5蔵も酒蔵があるんだね」とか、「まさしく東京の酒処だね」とか言われるようになりました。最近、国も、主にインバウンド向けとして「酒蔵ツーリズム」という言葉で予算をつけ、地方の酒蔵を巡ってもらう企画を考えているようです。ですから、「多摩川酒蔵街道」はさきがけであります。日本の地域の文化資産として、皆さんに楽しんでいただけるよう、我々も一生懸命頑張りますので、皆さんにもご協力いただければ嬉しく思います。

#### (18) 「多摩の物語」の語り会 (9/9) 【資料14】

- ・ 【資料14】をご覧ください。東京急行電鉄株式会社さんのご協力をいただきながら、世田谷区さんの後援で、10周年記念事業の一環として開催します。本件につきまして、東京急行電鉄株式会社CSR推進室・CSR推進部環境課課長の大東様に一言お願いいたします。

(東京急行電鉄株式会社 CSR推進室・CSR推進部環境課 課長 大東 様)

私自身、語り会に参加したことがないので、4月8日に日の出町で開催された語り会にはじめて参加しましたが、非常に感動しました。今回の開催場所は、二子玉川駅前のオフィスビル8階です。お寺とは雰囲気は違いますが、駅近くでお年寄りが移動しやすい場所ですので、問題ないと思います。チラシ・ポスターについては、当社の世田谷区を中心とする沿線の駅に設置・掲出する予定です。ご興味のある方はお越しください。

(事務局)

今回は東急電鉄さんのご厚意で、8月1日から田園都市線9駅、世田谷線10駅、大井線4駅、計23駅にチラシ・ポスターを設置・掲出していただくことになりました。有り難うございました。

#### (19) 美しい多摩川フォーラムの森 (青梅) 「桜の記念植樹」イベント (9/23)

- ・ 【資料5】の3枚目をご覧ください。資料のアンダーラインが10周年記念事業ですが、環境軸の③に「桜の記念植樹イベント」と記載しております。9月23日に開催することで決定しました。そもそも美しい多摩川フォーラムの森

(青梅)は、平成22年に東京都と締結し、平成23年5月に森の開設イベントを行いました。その後下刈りイベント等を通じて、地元の中学生を対象に環境学習の一環として取り組んできました。当日は、ヤマザクラやウワミズザクラ、カスミザクラをミックスして50本を植樹したいと考えております。なにぶん傾斜地なので、安全性を考慮し、参加人数は50人を上限とさせていただきますが、ご関心のある方は、ぜひ参加していただきたいと思っております。事務局からの経過報告は以上です。

(藪田部会長)

事務局からの経過報告で、他にご質問などございますか。私の方から質問が3点あります。次世代の子どもたちがどのように関わってくるのかが非常に大事でして、その意味では、1点目として、「多摩川“水”大学講座」のチラシには、「修了した方は、水環境に関するリーダーになり、各地で活動されることを期待します。」と書かれています。どういうプロセスを経たらリーダーになれるのでしょうか。2点目として、調布市環境フェアに出展したという報告がありました。多摩川流域の自治体で、環境フェアはどこでもやっていると思います。今後、調布市以外にも出展を増やす予定があるのでしょうか。もしくは増やした方が良いでしょう。キャパシティの問題もあると思いますので、短期的、長期的な問題を含めてお聞きしたいです。3点目として、「多摩川酒蔵街道」です。最近、SNSで1人の発信力が強いと、かなり広がりますので、外国人の方が発信すれば、「多摩川酒蔵街道」も世界に広がるのではないかと思います。インバウンドに関して積極的な動きは考えているのでしょうか。これは小澤酒造さんからご意見を伺いたいのですが、私は何度か「多摩ビール」を飲みに来たことがあります。ああいった、規模が小さくても醸造ができるビールについても発展性はあるのでしょうか。

(事務局)

まず1点目の「多摩川“水”大学講座」ですが、この講座は小倉副会長が講師を務めることもあり、レベルが高く、受講される方もそれなりに知識のある方が多いです。既定の回数以上を受講すると、講義最終日に事務局から修了証をお渡ししています。この修了証がステイタスとなり、それぞれの地域で講義をしている方もいらっしやると聞いております。2点目の環境フェアですが、調布市さんは、当初から環境への取り組みが熱心で、多摩川フォーラムに出展の声掛けがあったこともあり、今年で8回連続の出展となります。今後、調布市以外にも出展を増やすことは、事務局マンパワーの問題が大きく、難しい状況です。調布市環境フェアは毎年6月第一土曜日、多摩川一斉水質調査は毎年6月第一日曜日に開催することが多いため、事務局では、調布市環境フェアで多摩川一斉水質調査をPRするようにしています。多摩川一斉水質調

査の調査会場は青梅市にある青梅信金本店なので、当日朝に下流域で採水するのが時間的に厳しいですから、前日に下流域から中流域までの採水を行い、採水の一部は調布市環境フェア出展中に調査の実演を行っています。そういう意味では、調布市環境フェア出展と、多摩川一斉水質調査はセットで考えています。3点目については、宮坂よりお話をさせていただきます。

(宮坂)

「多摩川酒蔵街道」の件ですが、先ほど小澤さんからお話があったように、いま大変注目を浴びています。また、東北・夢の桜街道推進協議会でも桜街道の第2弾として、平成27年度に「東北酒蔵街道」を立ち上げました。これが国の目に留まり、観光庁から「酒蔵ツーリズム」でも応援してほしいと言われました。昨年、「酒蔵ツーリズム推進協議会」が民間で立ち上がり、テーマ別観光支援事業として観光庁が年間1千万円（3年で3千万円）で支援することになりました。その中で唯一先進している事業として、「多摩川酒蔵街道」を兄貴分とした「東北酒蔵街道」が取り上げられ、現在100蔵が参加しています。先日の6月28日には「酒蔵ツーリズム推進協議会」の初となる総会が開催され、協議会の体制を抜本的に見直し、「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」を立ち上げました。会長は細野助博先生で、私は副会長3名の中の一人となります。「多摩川酒蔵街道」という多摩川フォーラムの先駆的な事業が、東北復興支援に役立ち、さらには国のインバウンド施策の役に立つ最先端事業となり、話は広がっております。ただし、日本全部を統括することはできませんので、私の立場としては、多摩川フォーラムの精神である、ゆるやかに結んで、地域を元気にしたいという酒蔵さんを中心に地域をまとめ、「日本酒蔵街道」と名付け、海外でPRするところまで話が進んでいます。「多摩川酒蔵街道」については、毎年はとバスが来ていますし、JRは2年に1回お座敷列車を走らせていますので、成功事例となっています。多摩川フォーラムとしてこれをしっかりやっていくことが、他の地域への良いモデルになると思います。「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」については、小澤社長さんが東京代表の運営委員としてご参加いただいております。

(藪田部会長)

有り難うございました。小澤社長、一言お願いします。

(小澤酒造株式会社 取締役社長 小澤 順一郎 様)

いま宮坂さんからお話があった通り、酒蔵を巡るのがブームになるかもしれません。そういう概念が生まれたというのが素晴らしいことだと思います。藪田部会長からビールのご提案があり、なるほどと思いましたのは、地ビールも日本酒と同様、国税局が免許を与えないと作ることはできません。今までは、ある一定の量を生産しないと

許可が下りず、石川酒造さんの「多摩の恵」、西国立の「西国立ビール」しかなかったのですが、最近規制が緩くなり、昨年は奥多摩駅前に地ビール・バテレができ、青梅駅前にも地ビールパブのような店が近々オープンするようです。地ビールもこのくらい揃ってくると、お客様にご紹介できるのではないかと思います。

(宮坂)

1点追加します。「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」がやっている酒は、日本酒だけではなく、日本産酒類で、焼酎やビールも入っております。小澤社長がおっしゃったように、「多摩川酒蔵街道」も日本産酒類というカテゴリでPRすれば、西多摩だけではない拡がりが出てくるのではないかと思います。

(菟田部会長)

有り難うございました。それでは皆さんからご質問やご意見がございましたら、お願いします。

(澤田アドバイザー)

私は東京シティガイドをやっておりますが、先日、外国の観光客を小澤酒造さんにお連れしました。いま奥多摩地ビール・バテレの話が出ましたが、この店では、地元産ホップを使ってビールにしています。東京農業大学（全国の大学で唯一「醸造」の名を持つ専門教育機関）には食と農の博物館があり、小澤酒造さんのパンフレットが置いてありました。多摩川フォーラムのパンフレットも置いてくれるかもしれません。

(菟田部会長)

有り難うございました。私の妻は日本酒を飲めないのですが、スパークリングの日本酒であれば飲めるようです。女性の意見も伺いたいので、石河編集長、いかがでしょうか。

(石河編集長)

私はお酒が飲めないのですが、読者の方でお酒を飲む方が最近増えている印象があります。誌面でクラフトビールの特集を組むと非常に反応が良いです。女性目線のお酒はアリだと思います。

(菟田部会長)

有り難うございました。堤副部会長はいかがでしょう。

(堤副部会長)

お酒だけではなく、10周年記念事業も含めて2点ほど意見を申し上げます。1点

目は、石河編集長からの報告で、コースが同じだと参加者が減ってくるというお話ですが、10周年を機に、「多摩川夢の桜街道」の再選定をするということなので、88カ所を総入れ替えするのではなく、プラスでネオ88カ所とか、ファミリー向けのルートをご提案していただくと面白いと思います。2点目として10周年記念シンポジウムですが、総会とは毛色の違うものになってもらいたいと思います。総会はある程度の格式が必要ですが、シンポジウムは1回限りなので、ホワイエでフォーラムに関わる方々のお祭りの物販、展示会、試食・試飲会等があると面白いと思います。

## 5. 意見交換（部会長）

### （1）設立10周年記念事業の進捗状況について【資料5】

（菽田部会長）

はじめに事務局の方から説明してください。

（事務局）

【資料5】をご覧ください。平成29年度事業計画・同予算になります。まず、収入の部ですが、会費収入は2,000,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、10周年記念事業寄付金として、さらに青梅信用金庫様より2,000,000円、匿名A社様より10周年記念事業寄付金として500,000円、東急百貨店様より300,000円、青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より259,200円を予定しており、前期繰越金3,236,542円と合わせて合計では16,395,742円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として、4,190,000円、各種活動費として10,696,000円を計上しております。そのうち、網掛け部分は10周年記念事業で、合計では5,126,000円となります。なお、東北・夢の桜街道運動として例年同様、2,000,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金見込額は1,509,742円となり、合計では、16,395,742円となります。

次ページの10周年記念事業関連費用（概算）をご覧ください。10周年記念事業関連費用を纏めたものになります。網掛けの事業が10周年記念事業により、新たに資金負担が発生する案件になります。10周年記念事業費合計は、5,126,000円となります。なお、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所」の選定先等見直しに伴うマップ改訂、公式ホームページ改訂費用については、平成30年度以降に予算化を検討しているものです。平成29年度段階では予算に計上されておられません。また、美しい多摩川フォーラムの森（青梅）の記念植樹イベントですが、東京都農林水産振興財団の年度計画の中で対応することが当初より想定されているものであり、

新たに資金負担は発生しません。シンボルマークの制作ですが、フォーラム法人会員のアルピン株式会社様より、「無償で協力する」とのお申し出がありました。

一方、既存事業の見直しにより、削減額合計は2,626,000円となります。その結果、不足事業費は2,500,000円となり、青梅信用金庫様からの2,000,000円と匿名A社様の500,000円で賄う予定です。

次ページは、事業計画の主な実施内容になります。アンダーラインの9つの事業が10周年記念事業になります。経済、環境、教育文化の4つの案件については、先ほどこ説明させていただいた通りです。総合軸の「10周年記念シンポジウム」については、この後の意見交換で説明させていただきますが、7月29日に開催する予定です。「10周年記念誌」については、現在台割りについて調整中です。「100年プランパンフレット改訂」については、記念誌のエッセンスを反映したいと考えておりますので、年度内に完成したいと考えております。「シンボルマーク」および「ドローンの空撮映像」については、10周年記念シンポジウムで発表したいと考えております。

次ページは、事業計画の趣旨説明になります。次ページは主な事業活動の予定になります。次ページ目は会議&シンポジウムの予定になります。

以上で説明を終わります。藪田部会長、よろしくお願いします。

(藪田部会長)

村岡様、何かご意見等ございましたらお願いします。

(アルピン株式会社 代表取締役 村岡 秀樹 様)

多摩川夢の桜街道や東急さんのココエコ等、広報的な材料は揃い、認知度も高まっていると思いますが、先の10年に向けて、我々も出来るところはお手伝いしていきたいと考えております。正直な話、よく10年持ったなと思いますが、青梅信用金庫さんからの資金提供や事務局運営が一番大きいと思います。100年プランの残り90年について、私はあと10年くらいしか頑張れないと思いますが、次に繋げていけるよう努力したいと思います。

## (2) 設立10周年記念シンポジウムの方向性・内容について【資料11】

(事務局)

【資料11】をご覧ください。シンポジウムの具体的な内容について、事務局でも検討しておりますが、現在考えていることを説明します。まず冒頭で、ドローンの多摩川空撮映像を約15分間放映します。現在予算とにらめっこしながら編集を進めています。その後、来賓の方から応援メッセージをいただき、多摩川フォーラムのシンボルマークを発表します。そして「多摩川の歌」の合唱を披露し、後半のパネルディ

スカッションに移ります。パネリストとして、篠塚名誉会長、小倉副会長、平野副会長、そして国交省の服部様にご登壇いただき、細野会長がコーディネーターを務め、約1時間にわたって議論していただきます。このパネルディスカッションの内容については、まだ具体的に固まっておりませんが、会場にいらっしゃる方もパネリストの話に菊だけではなく、発言できるような参加型のパネルディスカッションにしたいと考えておりますので、本日、この意見交換で忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。藪田部会長、よろしくお願いいたします。

(藪田部会長)

有り難うございました。東急電鉄の大東様、ご意見がありましたらお願いします。

(大東 様)

先日の部会も参加させていただき、意見を申し上げたのですが、シンポジウムの参加者層が分からないので難しいですが、お子さんが参加されるのであれば、夢を与えるような内容を盛り込んだほうが良いと思います。

(藪田部会長)

やはり参加するからには楽しく、ためにならないといけません。また、参加＝社会貢献になることが重要です。では、どんな話が楽しいのでしょうか。

(大東 様)

いままで多摩川フォーラムのイベントに参加された子どもたちが、シンポジウムを通じてもっとイベントに参加したいと思わせるような内容であれば良いと思います。

(堤副部会長)

子どもに1時間話を聞いてもらうのは苦行になると思うので、別室でワークショップ的なものを開催し、粘土で多摩川上流を作らせるのも良いかと思いますが、開催が迫っていますので、今ある資源でということであれば、会場横で多摩川子ども環境シンポジウムのVTRを流すのはどうでしょうか。事務局の負担のない範囲ですが。

(藪田部会長)

先ほど事務局から、先日の部会で「参考になる意見があった」と報告がありましたが、それを紹介していただけますか。

(事務局)

前回の部会の山崎副部会長の閉会の言葉で、「多摩川下流の水はダムから流れる水

ではなく、蛇口の水である」、いわゆる下水処理水だということでした。奥多摩湖の水は、20%しか飲み水に使われていないそうです。「皆が2割節水すれば、ダムは無くて済む」、「下流の子どもたちは河原を知らない。泥の多摩川しか知らない。本当の多摩川を教えるのが大人の責任である」というご発言でした。奥多摩湖のダムが完成から60年経ち、老朽化してくる中で、ダムの無い多摩川は可能なのか、また、アユが上流まで遡上できないのは魚道等に問題があるのではないかなど問題提言等も、パネルディスカッションの中に盛り込んでいきたいと考えております。子どもたちという視点では、多摩川子ども環境シンポジウムに出場した子どもたちの中には、小学校で発表して中学校で司会をし、大人になって子どもたちに環境学習をしている子どももいます。そういった子に、シンポジウムで、「このフォーラムで自分がどのように成長できたか」を話してもらうことも検討しております。今日は皆さんのご意見を参考にしながら、シナリオにひと筆加えたいと思っております。

(藪田部会長)

有り難うございました。多摩川は環境が良くないと駄目だというのは明らかです。その上でどうやって地域を発展させていくかを考えるのが我々の使命だと思います。多摩川の上流、中流、下流ではそれぞれ水質が違い、下流になるほど汚れてきます。上流域の人、中流域の人、下流域の人がどうやって結びついていくかがとても重要だと思うのですが、そのことについて、八王子市の吉岡さん、何か良いアイデアはございますか。

(八王子市 水循環部 水環境整備課 課長 吉岡 宏人 様)

八王子市の本庁舎の前には浅川が流れており、その後日野市を流れて多摩川に合流するので、日野市さんとは連携事業をいくつか実施しております。毎年8月に、川崎市さんにご協力いただき、八王子市と日野市の小学生を対象に、大師河原の干潟に連れて行き、下流の景色がどれくらい違うのかを体験してもらい、環境学習を行っています。私も去年子どもたちに同行しましたが、上流とはまったく違う景色の中で、シジミやカニが獲れ、とても楽しかったです。我々多摩川上流域としては、市の施策として、今後も川の水質維持に取り組んでまいります。

(藪田部会長)

有り難うございました。子どもたちは、多摩川がどの市区町村と関わっているのかを知ることがとても大事だと思います。他にご意見はありますか。

(小澤酒造株式会社 取締役社長 小澤 順一郎 様)

東京都民にとって多摩川は特別な川です。多摩川の歴史にスポットを当てると、東

京の人は興味を持ってくれると思います。東京都は以前東京府でした。川崎が東京で、多摩地区は神奈川でした。東京は川崎と多摩地区を神奈川と交換したのです。なぜ交換したかという、東京は多摩川の水が欲しかったからです。その後、水を安定供給するために小河内ダムを作り、山梨県から入ってくる水も東京都水道局が管理するようになりました。つまり、多摩川の端から端まで東京都が持っている川なのです。これを外国の人に話すとビックリします。東京は、100年以上も前に、「東京という街を維持するために水が必要だ」ということを意識し、川を全部自分のものにし、現在でも川の水質をしっかりとチェックしていますが、「海外でこういう都市は無い」と言われます。こういうイメージを都民の人たちに持ってもらうと、上流の人たちへの感謝や、多摩川への感謝が生まれるのではないかと思います。

(藪田部会長)

有り難うございました。歴史的な面を語っていただけると嬉しいです。時間が迫っていますので、最後に澤田さん、ご意見があればどうぞ。

(澤田アドバイザー)

東京都知事の●●さんは、都内全ての市区町村をまわっています。東京都知事で行かなかった方は猪瀬さんと舩添さんです。小池さんは奥多摩に良く行かれています。石原さんは5～6回行っています。知事自身も歴史を追い掛けています。以前、大田区の都議会議員を10名ほど笠取山の水干に案内したことがあります。大田区さんは、多摩川の上流から学ぼうと非常に熱心です。ヤマセミが、最近のラフティングブームで多摩川からいなくなりました。環境からの警告だと思います。こういったことを多摩川フォーラムで訴えていければ良いと思います。私はフォーラム設立時から参加していますが、事業が拡大し、事務局スタッフだけではとてもこなせない量だと思います。事務局負担を軽減するため、スタッフボランティアを募集したらどうでしょうか。事務局を担っている青梅信用金庫の部長さんが変わりましたが、現状を見ると、今の人数じゃ無理だと思います、はっきり言って。それをどう打開するか、考えていただきたいです。皆がここで意見を言うだけでは無理だと思います。行動を起こしてください。

## 6. 総括・閉会（部会長）

(藪田部会長)

今日は色々のご意見をいただきました。火急の話から、今後10年の話もありましたが、まずは10周年記念シンポジウムを成功させたいと思います。このシンポジウムは参加型だそうですので、本当の意味でのご参加をお願いします。それでは、第1回・地域経済活性化部会を終了します。有り難うございました。以上